

*本プレスリリースは 2017 年 9 月 28 日（木）にインドネシアで発表された APP のプレスリリースの抄訳です。

報道関係各位

2017 年 10 月 5 日
エイビーピー・ジャパン株式会社

インドネシア環境林業省（KLHK）の水質規制局と アジア水環境パートナーシップ(WEPA)の派遣団、 カラワンの APP 工場施設を視察

【2017 年 9 月 28 日 - ジャカルタ、インドネシア】 - アジア・パルプ・アンド・ペーパー・グループ（本社：インドネシア、会長：テグー・ガンダ・ウィジャヤ 以下、APP）は、アジア水環境パートナーシップ（WEPA）が主催する「アジアにおける第 13 回水環境パートナーシップ年次大会」において、同社のピンド・デリ・パルプ・アンド・ペーパー工場Ⅱ（所在地：インドネシア・カラワン）の工場排水処理システムがベスト・プラクティスの模範例として評価を得たことを受け、その一環として、インドネシア環境林業省（KLHK）水質規制局、ならびに WEPA で構成される視察団を歓迎したことを発表しました。



写真（左）：KLHK と東京大学名誉教授・鈴木基之教授を含む WEPA からの派遣団

写真（右）：ピンド・デリ工場の排水処理機能の説明を受ける参加者

「私たちは、この工業地区における継続的な環境維持活動の一環として、今回の視察を心より歓迎しております」とピンド・デリ・パルプ・アンド・ペーパー工場長のヘンドリ・グナワンは述べています。

2017 年の WEPA 訪問は、3 日間（9 月 26 日～28 日）のイベントの一環として行われました。イベントの初日は、産業排水処理の国際的なワークショップで始まり、2 日目はアジア各国の代表が参加する WEPA の第 13 回年次会合が行われました。WEPA の年次イベントの 3 日目には、ピンド・デリ・パルプ・アンド・ペーパー工場Ⅱは、適切な排水処理機能の要件を満たしていることから、ベスト・プラクティスの模範例の一つとして評価されました。

WEPA は、「2003 年世界水フォーラム III」において日本の環境省のアイデアが発端となり設立され、2004 年に正式な機関となりました。WEPA は、水と環境管理の知識を伝えるだけでなく、気候変動および淡水エコシステムにおける情報発信を行っています。

今回の工場視察は、政府の排水処理プラント技術・検査要件を満たすことに成功したインドネシア企業の代表例として、インドネシア環境林業省（KLHK）の水質規制局の主導により実施されました。

ピンド・デリ・パルプ・アンド・ペーパー工場 II は、2016 年に工業省および KLHK より 2 つの賞を受賞しています。KLHK からは、工場排水管理システムの標準要件を超えたクオリティと実績を受けて、グリーンカテゴリーの正式な賞を付与されています。一方、工業省からも、環境へのインパクト軽減カテゴリーの最高位賞としてグリーンインダストリー2016（レベル 5）を受賞しました。

「ピンド・デリ・パルプ・アンド・ペーパー工場 II は、水のリサイクルを含む水の効率的な利用および排水処理の品質が政府が定めている品質標準の要件に会うよう、排水管理においても継続的な機能改善を目指します」とヘンドリ・グナワン工場長は述べています。

<APP ジャパンについて>

エイピーピー・ジャパン株式会社（APPJ）は、インドネシアのジャカルタを本拠とする総合製紙企業 APP グループの日本における販売会社です。1997 年の設立以来、20 年以上にわたり日本市場のお客様のニーズにお応えするため、印刷、情報用紙、板紙、コピー用紙、文房具などの分野で、多様な紙及び板紙製品を提供しております。

www.app-j.com/

詳細な情報が入り用の方、また、ご意見をお寄せいただける方は、以下までご連絡ください：

エイピーピー・ジャパン株式会社

コーポレートコミュニケーション本部 永尾 真由美

Tel: 03-5795-0023 | Fax: 03-5795-0065 | E-mail: mayumi-nagao@appj.co.jp

エイピーピー・ジャパン広報代理

エデルマン・ジャパン株式会社 西・松崎・小保内（おぼない）

Tel: 03-4360-9000 | E-mail: APPJapanPR@edelman.com
